

TOEIC®テストと TOEIC®スピーキングテスト/ライティングテストのスコア比較表

TOEIC テストと TOEIC スピーキング テストのスコア比較表		
TOEIC テストの スコアレンジ	TOEIC テストの 平均スコア	スピーキング テストの予測 スコア
950～990	975	170 以上
880～945	910	160
815～875	845	150
745～810	780	140
675～740	710	130
605～670	640	120
535～600	570	110
465～530	500	100
395～460	430	90
350～390	370	80
10～345	285	70 以下

TOEIC テストと TOEIC ライティング テストのスコア比較表		
TOEIC テストの スコアレンジ	TOEIC テストの 平均スコア	ライティング テストの予測 スコア
960～990	980	180 以上
890～955	920	170
825～885	855	160
760～820	790	150
695～755	730	140
625～690	655	130
560～620	595	120
495～555	530	110
425～490	465	100
360～420	400	90
350～355	350	80
10～345	290	70 以下

スコア比較表をご覧いただく際の注意事項

- この「スコア比較表」は、2,064 人の日本と韓国の受験者データを基に、TOEIC テストのスコアからそれに対応する TOEIC スピーキングテスト/ライティングテスト(以下「SW テスト」)のスコアを Educational Testing Service (ETS) が予測したものです。SW テストの実施は日本と韓国でのみ行われており、両国からサンプルを抽出しています。対象サンプルは、SW テストあるいは TOEIC スピーキングテストを 2006 年 12 月から 2007 年 3 月までの間に受験しており、SW テストあるいは TOEIC スピーキングテスト受験から 12 ヶ月以内に TOEIC テストを受験しています。
- この比較表の「TOEIC テストの平均スコア」は、各「TOEIC テストのスコアレンジ」に属する受験者の平均点を示すものです。
- SW テストの各スケールは 0 点から 200 点です。上記の表で TOEIC スピーキングテストでは 70 点以下と 170 点以上を、TOEIC ライティングテストでは 70 点以下と 180 点以上のスコアを細かく表示していないのは、検証の結果、これらのスコアレンジにおけるデータは十分に有意なデータとは認められないと ETS が判断したためです。
- この比較表は、今回の調査対象(サンプル)となった受験者のデータに基づいて作成されたものであるため、その他の個々の受験者に対しては当てはまらない場合もあり得ます。この比較表は TOEIC テストから TOEIC スピーキングテスト、TOEIC ライティングテストの各スコアを予測する目安としてお使いください。リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング能力を正確に把握するための最も有効な方法は、各能力に関連するテスト(TOEIC テスト、または SW テスト)を受けて直接その能力を測定することです。

資料公開日:2007 年 10 月

資料作成:一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

＜本件に関するお問い合わせ先＞

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 IIBC 試験運営センター
 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル TEL(03)5521-6077
 公式サイト <http://www.toEIC.or.jp>